

## 審判の実施について

### 1 審判の割り当て

- ① リーグ戦（A、B、Cクラス）
  - ア A・Cクラスの球審は連盟審判員が行う。Bクラスの球審は割り出し表による。
  - イ 塁審は割り出し表に基づきチームが実施する。
- ② トーナメント戦
  - ア 球審は、連盟審判員が行なう。
  - イ 塁審は、準決勝、決勝を除き次により行なう。
    - ◇ 第1試合の塁審は、第2試合のチームから2名ずつ差し出す。
    - ◇ 第2試合の塁審は、第1試合の負けチームから4名差し出す。
    - ◇ 第3試合の塁審は、第4試合のチームから2名ずつ差し出す。
    - ◇ 第4試合の塁審は、第3試合の負けチームから4名差し出す。
    - ◇ 第5試合の塁審は、原則として連盟審判員が行なう。
    - ◇ 都合により上記に関わらず勝ちチームが塁審を行う場合もある。
- ③ 棄権に関して
 

止む得ず試合を棄権するチームは、代表者が相手チームの代表者に連絡し、審判等調整結果をグループLINEで共有する。審判は自チームに割り当てられた審判は勿論、相手チームが割り当てられた審判も実施するものとする。

トーナメント戦	1・3 棄権した場合は 2・4 試合塁審等4名差し出す。
	2・4 棄権した場合は 1・3 試合塁審等4名差し出す。
リーグ戦	棄権した相手チームの審判を実施するものとする。

### 2 審判の規律

- ① 審判服装
  - ア 審判服装又は野球ユニホーム服装（上着脱可）。原則として他は不可
  - イ 帽子着用（野球帽）
  - ウ 審判靴、スパイクまたは運動靴とする。その他は不可。
  - エ タオル等はポケットに入れておくこと（首等に巻かない）
- ② 集合時間の厳守。割り当てられた試合の30分前には、集合すること。
- ③ 第1試合、第3試合に割り当てられた審判員は、グラウンドのセットアップ作業を行う。
- ④ 割り当てられた試合の球審は、塁審に対し「位置、ジャッチの仕方等」について、指導、また打ち合わせを行うこと。
- ⑤ 試合前に申し合わせ事項、グラウンドルール等について確認する。